学校番号	2002

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	ウェルビーイングにつなぐ 家庭基礎　（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

衣生活、食生活、住生活および子どもの発達と保育、高齢社会、消費生活に関する事項を生活科学として理解するとともに、生活文化と関わらせて考え、充実した生活を営むことができるようにします。

2　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	生涯の生活設計1	①自分の将来をイメージしよう！	a:生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解している。 ・これからの人生で起こりうるライフイベントについて理解している。 ・生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解している。 b:自分自身について客観的に分析し、自分の目指すライフスタイルの実現に向けて問題を見いだして課題を設定している。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、人生で起こりうるライフイベントについて自分の将来と照らし合わせながら主体的に考えようとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント
	第1章　青年期の自立と家族・家庭	①自立への一歩を踏み出そう ②家族･家庭って何？ ③将来の自分と家庭を想像しよう	a:自立の必要性と、青年期の課題や生活課題に対応した意思決定の大切さを理解している。 ・家族関係の変化や男女共同参画社会、ワーク・ライフ・バランスなどの課題について理解を深めている。 ・家族に関する法律（婚姻、夫婦、親子、相続等）や社会制度について理解している。 b:生涯発達の視点から、青年期の過ごし方について問題を見いだして課題を設定している。 ・これからの家族･家庭のあり方について、課題解決への実践を評価したり、改善したりしている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭の課題について自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント

	第1章　消費生活と経済計画	①何をどうやって買う？ ②消費者問題と消費者を守るしくみとは ③消費者の権利と責任を考えよう ④社会経済につながる家計とは？ ⑤将来の経済計画を考えよう	a:消費行動における意思決定の重要性について理解している。 ・契約するときの注意点、契約における未成年と成年の法律上の責任の違いについて理解している。 ・多様な契約の仕組みや使い方や、クーリング・オフ制度の他、契約がキャンセルできる場合を理解している。 ・消費者の権利と責任、消費者市民社会について理解している。 ・家計と社会経済、給料の仕組み、家計の構造（可処分所得や非消費支出など）について理解している。 ・人生にかかるお金、リスクと備えについて理解し、資金計画を計算できる。 b:生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、問題を見いだして課題を設定し、課題の解決に向けて考え、工夫したり、実践を評価したり改善したりして、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画や、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント
	第4章　共生社会と福祉	①共生ってなんだろう？ ②ともに支え合う社会とは	a:自助、互助、共助、公助について理解している。 ・社会保障制度や公的年金制度について理解している。 b:家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について、実践に向けた計画を考え、工夫している。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント
	デートDV予防	デートDV予防	b:望ましい青年期の男女のかかわり方・付き合い方について、自らの考えをまとめることができる。 c:デート DV 予防について関心を持ち、青年期の自立の課題について自分や周囲の人々の生活の充実向上に関心を持ち学習活動に取り組もうとしている。		課題 ワークプリント	振り返りシート

	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	家事労働から見る課題	b:自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決方法を検討、実践に向けた計画を考え、工夫している。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている		課題	課題
2	第3章　住生活と住環境	①私たちの暮らす住まいとは？ ②快適・安全に暮らそう ③持続可能な住まいのために	a:住まいの空間と生活との関わり、住まいの役割について理解している。 ・住居の平面図を読みとることができる。 ・快適に暮らすための工夫について理解している。 ・自然災害や家庭内事故などに対応した安全な住宅・住生活を理解している。 b:住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりなどについて、 考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント

	第2章　子どもの生活と保育	①子どもはどう生まれ育つ？ ②子どもの生活にどうかかわる？ ③子育て社会の課題とは？	a:子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を理解している。 ・生命の尊さを認識するとともに、保育における親やおとなの役割を理解している。 ・子どもは生活の中で人と関わることを通して成長することを理解している。 ・子どもを取り巻く社会の変化や子育ての課題について理解を深めている。 ・子どもの権利と福祉について理解している。 ・少子化、育児不安、児童虐待、子どもの貧困など、現代の子どもを取り巻く環境の変化と課題について考え、新聞・書籍・インターネットを活用し、資料の収集・整理ができる。 b:子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を捉え、子どもにとってよい環境について考えたり、親の役割や子どもを生み育てることの意義や望ましい保育環境について考え、まとめたり、発表したりしている。 ・子どもの健やかな発達を支えるために、子どもとの適切な関わり方について、多角的に考え、工夫している。 c:自分が将来保育に関わる存在であることを理解し、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもとの関わりと保育・福祉について、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント
	第3章　高齢期の生活と福祉	①高齢期ってどういう時期？ ②高齢化する日本を生きる	a:高齢期の心身の特徴や高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 ・生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 b:高齢者の自立生活を支えるための、家族や地域及び社会の果たす役割について、実践に向けた計画を考え、工夫している。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、地域社会に参画しようとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント

	第2章　衣生活と健康	①衣服の役割ってなんだろう？ ②衣服はどうやってつくられている？ ③衣服の計画・管理を知ろう ④今後の衣生活を考えよう	a:被服の機能や、衣服が健康に与える影響について理解している。 ・ライフステージや目的に応じた衣服について理解している。 ・被服の入手、洗濯、保管などの被服管理について理解し、管理できる技術を習得している。 ・資源の有効利用の観点から、購入、活用、手入れ、再利用、廃棄まで考えた被服計画の必要性について理解している。 b:衣服と健康、被服の機能性や快適性、衣服と環境などについて、問題を見いだしたり、解決方法を検討し、実践に向けた計画を考え、工夫しているし、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 課題 ワークプリント	課題 ワークプリント 被服実習

3	第1章　食生活と健康	①なぜ食べるのだろう？ ②私たちは何を食べている？ ③食品を選ぼう ④今と未来の体をつくろう ⑤持続可能な食生活を目指そう	a:食と健康の関わりについて知り、食事の大切さを理解している。 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質や栄養素の特徴と、それを多く含む食品について理解している。 ・日常用いられる食品の栄養素的特質、調理上の性質について理解している。 ・食品の表示の意味を理解している。 ・食中毒や食物アレルギーについて理解し、健康・安全を考えた調理をすることができる。 ・日常食の調理について、栄養バランスのよい献立作成、食材の選択、調理、盛り付け、マナー、配膳などについて総合的に理解している。 ・持続可能な食生活のあり方を理解し、資源、エネルギーに配慮した食品の購入、調理、保存ができる。 b:食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について、問題を見いだして課題を設定したり、解決方法を検討し、実践に向けた計画を考え、工夫したり、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 課題 調理実習	課題 ワークプリント 調理実習
		防災を通した持続可能な関係づくり	a:一生を通して、社会の動きを見つめ、不測の事態にも柔軟に対応する必要性や広い視野をもって生活を創造していくことの重要性を理解している。 ・自分自身や社会全体のウェルビーイングについて理解を深めている。 b:これまでの学習内容を踏まえて、行動を考えたり、修正したりしている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決や、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 課題	課題 ワークプリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度